

子どもたちがつくる青少年会館居場所事業

青少年会館フレゼンツ 第1回

★ 松戸青少年会館

MATSUO 学生クイズ選手権

講座のねらい

小学生が夏休み期間などにスポーツやものづくりなど様々な体験活動を実施するプログラム、子どもたちがつくる青少年会館居場所事業。その一環として「子どもに関わる担い手育成」を行なっている。今回のクイズ選手権はクイズを解きながら、良いグループの作り方やコミュニケーションについて学び、小学生向けクイズ大会の企画・運営をすることで、大人と子どもの「あいだ」をつなぐ世代として、小学生と寄り添い、共に企画できる、ロビーワークの担い手の育成を目指す。

頭だけじゃない！
体も使って！



まずは実践！ クイズ選手権を体験してグループづくり
やイベント開催のノウハウを学び、企画に繋がります。

企画会議中！ アイデアを出し合っ
て、よりよいイベントを目指します。



ピンポン！

小学生クイズ大会スタート！



参加者の声

- ・小学生がどの問題にひっかかるか考えるのが楽しかった。
- ・小学生へわかりやすく伝えるにはどうすればいいか考えるのが難しかった。
- ・知らない人とのイベントの企画でも、途中から仲良くなれたのがよかった。また、小学生クイズ大会でも知らない人同士のチームで、途中から仲良くなっていく様子が見れてよかった。

成果と課題

成果：参加者がただイベントに参加するのではなく、自ら考え企画しイベントを運営する貴重な体験になったと思う。学校・学年の異なる参加者がイベントで協力し、終了後、連絡先を交換する様子が見られた。イベント終了後も青少年会館の他のイベントの手伝いを行なう参加者もあり、青少年の活動の場の提供にもなったように思う。

課題：クイズ選手権を体験した参加者のうち、小学生向けの企画に続けて挑戦した者は多くなかった。体験で終わることなく、次のステップへ、より魅力的な青少年の活動の場の提供を模索していきたい。